

英語学演習ⅡB

授業内容

この授業では、生成文法での移動と局所性(Movement and Locality)に関する研究について、重要な文献を通じて概観することを目的とします。

現在の生成文法では、ミニマリスト・プログラムを理論的指針として研究が進められています。しかし、ミニマリスト・プログラムのみを見ていると、その本質を理解することが出来ないために、オリジナルな研究へと結び付けるのが難しいというのが現状だと思われます。ミニマリスト・プログラムの本質を理解するには、どのような概念的・経験的要請に基づいて理論が進展してきたのかということを理解する必要があります。さらに、ミニマリスト・プログラムの指針に基づいて書かれている論文であっても、それ以前の研究成果が基盤となっている以上、以前仮定されていた理論的枠組みの理解が不可欠となります。

この授業で取り上げる移動と局所性に関しても、ミニマリスト・プログラムでの重要な主題の一つです。しかし、そこに至る理論的背景や経験的証拠についての理解がなければ、真に理解したことにはなりません。そこで、以下の移動と局所性に関する主要文献を読みながら、理解を深めたいと思います。授業の進捗については、受講者に応じて適時調整しながら進める予定です。

1. Overview
Read: Hornstein and Weinberg (1995)
2. Proper Government and the Empty Category Principle
Read: Lasnik and Saito (1984)
3. Connectedness
Read: Kayne (1983) Chapter 8
4. Barriers
Read: Chomsky (1986) Chapters 2-8
5. Relativized Minimality
Read: Rizzi (1990)

履修上の注意

特になし

教科書

Chomsky, N. (1986) *Barriers*, MIT Press.

Hornstein, N. and A. Weinberg (1995) "The empty category principle," in G. Webelhuth (ed.) *Government and Binding Theory and the Minimalist Program* Chapter 5, pp. 241-296, Blackwell.

Kayne, R. (1983) *Connectedness and Binary Branching*, Foris.

Lasnik, H. and M. Saito (1984) "On the nature of proper government," *Linguistic Inquiry* 15, 235-289.

Rizzi, L. (1990) *Relativized Minimality*, MIT Press.

参考書

クラスの中で適時指示します。

成績評価の方法

Presentations and Class Participation 30%, Homework 40%, Take-home Final 30%